



高橋 五輪夫

質問

# 観光客にも優しい安心安全な 先進的観光地づくりを目指せ

## 行政・警察・スキー場と3社で 検討・協議していく

問 海外からのスキー客も増え、オーストラリアのお客様は新雪のあるバックカントリースキーを好まれる。

しかし海外のお客様に対して、スキー場管理区域外の滑走についての案内、説明がないと万が一事故の時、行政責任を問われかねない。それらに対処するために、英語での注意や案内配布などを検討して頂きたい。

答 英語表のみならず、日本語でも行政、警察、スキー場と三者で検討、協議していく。

## 質問 本当に困っている町民の声を聞き分けよ

問 今年2月に2週にわたり関東の大雪で交通マヒが起きた。

その時は三俣、一居、浅貝では一晩でかなりの降雪があった。その時、とある宿に通

じる町道は雪崩が発生し道が封鎖され、お客様も数時間帰路を絶れたと聞く。

そこで、宿の主人は経験のない降雪で再度雪崩が発生する不安から、町



魅力あふれるバックカントリースキー 写真はかぐらモンスター (2月下旬)

に除雪の応援要請をしたが、2日待っても来てくれなかったようだ。

普段の声は小さく、行政に対し物言わない町民だが、いざ困った時には、その声を聞き分けて早急に対応して頂きたい。

湯沢は他の市町村に無いほど丁寧な除雪体制とは理解しているが、長野県佐久市長はこの大雪のときにツイッターを活用し、行政の除雪対応状況を随時流し、心配している市民に安心を与えた

ことがニュースでも取り上げられた。湯沢においてもこのようなSNSを活用し、随時、町民に情報を流して頂くことはいかがであるか。

答 まだSNSの活用方法をよく理解していないが、今後の課題として必要なことは認識しているので研究していきたい。

※SNSとは：人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニケーション型のWebサイト。

## 質問 町長の公約 職員の人事交流の進捗状況・ 計画はいかに

問 近隣市町村の職員交流状況を調べると、みなかみ町は谷川岳を有するので環境省に派遣、魚沼市は内閣府や国土交通省に派遣、南魚沼市はほぼ毎年国土交通省に出向させている。

役所では優秀な若手職員が多く、彼らのやる気を創出し、さらなる事務能力のアップと国との関

係構築ができる、非常によい研修になると思う。やる気のある若手職員を国レベルで仕事をし、キャリアアップは必ず湯沢町のため、職員のためになると思うがいかに。

答 大変いいことだと思う。新設される企画政策室にて、よく検討をしていきたい。